

平成19年度 事務事業評価表	担当	市民福祉部 長寿課	内線等	2132
事務事業名	住宅改修支援事業		事業コード	1. 一般事務事業（ソフト事業）
根拠法令等	蒲郡市介護保険住宅改修費実施要綱		Dその他	

総合計画での位置付け

基本目標	3. 健康で安心して暮らせるまちづくり	施策名	高齢者福祉
------	---------------------	-----	-------

事務事業の内容

対象（受益者）	介護保険における住宅改修申請者に対して
手 段	住宅改修の相談・助言及び改修費の支給の申請に係る理由書を作成する介護支援専門員等に対して、市が作成手数料（委託料）を支払うことによって
想定する成果	要介護者の身体的特性や行動特性に適した住環境の支援をする。

事業の概要

項 目	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度計画
住宅改修件数	142件	165件	162件
事業委託件数	8件	24件	24件
事業委託件料	16,800円	50,400円	50,000円

成果指標

成果指標名	事業進捗率
成果指標の説明	事業委託件数/住宅改修研修

事業の進捗状況 （ 介護保険事業特別 会計 ） （単位：千円）

		平成18年度決算（実績）				平成19年度決算（実績）				平成20年度予算（計画）			
成果指標		5.6%				14.5%				14.8%			
成果指標													
事業費	事業費	17				50				50			
	人件費	778				781				785			
	(人数)	正規	0.1	非常勤	0.0	正規	0.1	非常勤	0.0	正規	0.1	非常勤	0.0
	合計	795				831				835			
財源内訳	国	6				20				20			
	県	3				10				10			
	市債												
	その他	3				10				10			
	一般財源	783				791				795			

事務事業内容の評価

項目	課内評価		部長評価		評価の説明（問題点）
	19評価	16評価	19評価	16評価	
達成度	3	3	3	3	住宅改修だけを必要とする要介護者等の相談・助言の効果を高め目的どおりの成果があがっている。
経済効率性	2	2	2	2	ケアマネージャーとの契約を要せず、介護費用等の軽減が実現できている。
事務効率性	2	1	2	2	成果指標にみる数値にかかわらず利用者の利便が図られている。
必要性	3	3	3	3	理由書の提出が義務化されているため、幅広く住宅改修サービスの受給ができる。
小計	10	9	10	10	
施策への貢献度	2	-	2	-	市が費用を負担することにより、制度の活用が図られる。
合計	12	9	12	10	理由書の解釈には専門的知識を有するため、利用者保護の観点からは適切な改修であるかの判断力に欠ける。

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	B	B
------	---	---	---	---

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

前回（H16評価時）「今後改善すべき点」として記載した内容及びその実施状況

前回（H16評価時に）記載した「今後改善すべき点」
上記改善点の実施状況

今後さらに改善すべき点

介護報酬の改正の状況に沿って改善につき検討する。

平成21年度予算に反映する項目

今後の方向性

現状維持

【各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載】

内部管理事務事業、義務的事業は必要性を、また施策名がその他のものは施策への貢献度を評価していません。

